

## 第3回全国障害学生支援コーディネーター研修会 プログラム

(各講演タイトル等は仮題)

日時： 2009年6月27日(土) 10:30~16:30

6月28日(日) 9:30~16:00

場所： キャンパス・イノベーションセンター(東京)

主催： 国立大学法人 筑波技術大学

共催： 独立行政法人 日本学生支援機構(申請中)

後援： 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所(申請中)

内容：

### 全体の部

まず、昨年の第2回研修会で筑波技術大学から提案させていただいた「総論」の概要を振り返り、さらに新たな展開を提案します。また今回は、基調講演「障害学生支援の歴史と展望」を、改めて「総論」の背景となるものとして日本福祉大の大泉教授にお願いしました。そして、前回の社会福祉および経済学の視点からの各論に続き、今回は各論「法の視点から」を東京大学の長瀬准教授に、各論「教育学の視点から」を福岡教育大学の太田教授にご講演いただきます。

### 分科会

各大学の支援現場で、すぐに活用できる具体的な支援技術や知識を学ぶ研修を実施いたします。各大学の支援体制や支援状況に応じて分科会をお選びください。

視覚系分科会「障害学生とコーディネーターのための楽ラク資料作成」

教材や配布資料を、単純に拡大コピーしただけ、点訳団体に依頼しただけ、にしているいませんか？ 拡大や点訳で知っておくべき基本と具体的な資料作成方法を実習を交えて学びます。

聴覚系分科会「支援チームを強化する100の方法」

より良い支援チームを作るための方法を考えます。

1. 支援学生のモチベーション&スキルアップに関する方策の洗い出し
2. 聴覚障害学生のエンパワメントを意識した働きかけ方策の検討
3. 支援チームの強化方法に関する情報交換

ワークショップ 「『こんなときどうする?』問題対応方法をみんなで考えよう」

各参加者が持ち寄った問題対応例を材料に、グループワークによる分析を通して対応方法を考えます(事前に作業シートを作成・送付していただきます)。

■第1日目 6月27日(土) 10:30~16:30 全体の部 (国際会議室)

10:00~10:30 受付

総合司会 筑波技術大学 総務課 柴 正彦 課長

10:30~10:45 全体の部開会/挨拶 筑波技術大学 村上芳則 学長

日本学生支援機構 学生生活部 特別支援課 荒木昌美 課長

10:45~11:15 講演「障害学生支援論・総論 振り返りと展開」

筑波技術大学 長南浩人 准教授

11:15~12:30 基調講演「障害学生支援の歴史と展望」

日本福祉大学 大泉 溥 教授

12:30~13:30 休憩

13:30~14:30 各論講演1「障害学生支援論・法の視点から」

東京大学 長瀬 修 特任准教授

14:40~15:40 各論講演2「障害学生支援論・教育学の視点から」

福岡教育大学 太田富雄 教授

15:50~16:20 ディスカッション (司会) 筑波技術大学

飯塚潤一 教授

16:20~16:30 全体の部閉会/挨拶

国立特別支援教育総合研究所 教育支援部 西牧謙吾 上席総括研究員

17:15~19:15 情報交換会

■第2日目 6月28日(日) 9:30~16:00 分科会, ワークショップ

9:10~9:30 受付

9:30~12:00 分科会

・視覚系分科会「障害学生とコーディネーターのための楽ラク資料作成」 (多目的室2)

「ロービジョン向け資料はこうして作ろう」 東京女子大学 小田浩一 教授

「簡単な資料は点訳ソフトで作ろう」 静岡県立大学 石川 准 教授

・聴覚系分科会「支援チームを強化する100の方法」 (多目的室3)

東京ボランティア・市民活動センター 河村暁子 主任

12:00~13:00 休憩

13:00~16:00 ワークショップ

(国際会議室)

『こんなときどうする?』問題対応方法をみんなで考えよう」